令和８年度　自治会活動表彰

自治会活動事例集

自治会
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

～地域まちづくりノート～

地域への“想い”を綴りました。



みんなでまちづくり課
宇都宮市自治会連合会

はじめに

宇都宮市では，市民協働によるまちづくりを推進しており，特に地域コミュニティの基盤となる自治会が主体的に取り組む活動に対して支援しています。

この一環といたしまして，令和８年度に「自治会活動表彰」を受賞した魅力ある自治会活動を事例集としてまとめ，活発に取り組まれている様子を広く市民の皆さんにお知らせするため，この冊子を作成しました。

目次

【令和８年度自治会活動表彰（１４自治会）】

NO	地区名	自治会名
１	河内	釜井台二区
２	河内	古田
３	昭和	杉原尾上
４	雀宮	サニータウン
５	宝木	西中丸
６	豊郷	瓦谷町上
７	豊郷	瓦谷町下
８	豊郷	ゆたか団地
９	西	材木町通り協和会
１０	西原	蓬莱町
１１	細谷・上戸祭	上戸祭１丁目
１２	御幸ヶ原	上野町南
１３	陽光	今宮４丁目
１４	陽東	南ふたば

河内地区　釜井台二区自治会

●加入世帯数：２４０世帯　　●加入率：８８．２％

活動内容

釜井台二区自治会は，昭和５０年代初期に約９００世帯で発足した釜井台団地自治会がルーツとなっており，現在は，自治会業務効率化のために一区から三区まで分割しています。

二区では，若い転入者から高齢者まで安全安心に暮らせるような地域づくりに努めており，他の自治会にはない独自の企画にも挑戦しています。「テーマに沿った春のバス旅行会」，「オリジナリティに富んだ敬老会」，「冬の餅つき大会」，「ごみステーションの徹底した維持管理」，「花壇の手入れ」，「道路標識などの増設」，さらに，釜井台二区オリジナルソング「笑顔に会える街」を製作し，愛唱することによる連帯感を創出しています。

これらの活動を通し，「住んでよかった釜井台」を合言葉に，すべての人が健やかに明るく暮らせるまちづくりを目指しています。

加入を維持する取組

自治会のメリットを感じていただけるようなイベントの運営や環境整備に取り組むとともに，点から線，そして面になるような隣近所との交流・連携を大切にしています。

そして自治会活動は任意の活動であることから，無理のない範囲での協力や参加を呼び掛けるとともに，役職の強制的な押し付けをしないよう，共助の精神を基に活動しています。

さらに，会員の年齢や体力等の状況を汲み取り，役職免除や会費減免の制度も設けています。

釜井台の歌　笑顔に会える街

青い空　白い雲　そよぐ風
爽やかに　陽はそそぎ
溢れる笑顔　ひらく街
釜井台　健やかに
手と手をつないで　輪になれば
ふれあい　ときめき　限りなく
鮮やかに　フレッシュに
明るく伸びる　活き活きと
たくましく　前向いて　明日を語ろうよ

やさしさと　ぬくもりが　ほのぼのと
通い合う　喜びが
笑顔と笑顔　つなぐ街
釜井台　いつまでも
未来の息吹が　歩み寄る
きらめき　かがやき　羽ばたいて
鮮やかに　フレッシュに
ふくらむ夢は　果てしなく
あせらずに　ひとつずつ　花を咲かそうよ

河内地区　古田自治会

●加入世帯数：４６世帯　　●加入率：９７．９％

活動内容

古田自治会は，宇都宮市の中心部から北方約１０㎞に位置する純農村地域であり，農家を中心とした住民同士のつながりが強い自治会です。

特徴的な活動として，「農地維持活動組織」との連携があります。平成１９年度に「ふるた遊楽環境保全会」を設立し，連携して農道の整備，U字溝の設置，農水路の蓋掛け，泥あげや神社・墓地等共有地の草刈り，花苗の植栽など環境保全活動に取り組んでいます。このほか，年間の行事として幹線水路の堀さらいや，神社・墓地等共有地の草刈り等も実施しており，これらの活動における参加率は，高齢世帯が増えている中でも８割を超えています。地域の連携意識が強い自治会となっています。

また，近年の活動として，１９８４年を最後に途絶えていた「風祭り」の儀式を再現したほか，これまで７０年実施されてこなかった「どんど焼き」を復活させるなど，農村文化の魅力発信と伝承のために様々な取組を実施しています。

さらに，少子化が進む中，子供会の活動も継続して実施しています。公民館前の花壇整備や，神社の清掃を実施しているほか，毎年秋にはサツマイモ堀りとともに，講師による水田や水路の生き物調査を実施しています。

加入を維持する取組

本自治会は，転入・転出がほぼないところではありますが，若者世帯が転入してきた際には，自治会長や班長が中心となり，加入のメリット等を丁寧に説明しながら勧誘を進めています。





古田自治会では二百十日を迎える8月、江戸時代から伝わる天棚を倉庫から引き出し、五穀豊穣を願って「風祭り」を行いました。

自治会に残る100年ほど前（大正9年）の古い写真を基に、御行様（おんぎょうさま）が「帰命頂礼（きみょうちょうらい）、六根清浄（ろっこんしょうじょう）」と発声した後、御行様と参加者らは、「ザンゲ、ザンゲ、六根清浄　おしめに八体金剛童子背面童子の一時礼拝」と唱え、御行様の発声に合せながら「ザンゲ、ザンゲ、六根清浄」と唱えて天棚を回りました。1948年を最後に途絶えていた儀式の74年ぶりの再現となりました。

大雨災害が多発する昨今、何の気象情報も無い当時の先人たちの自然災害に対する深い憂いをみんなで感じることができました。

昭和地区　杉原尾上自治会

●加入世帯数：１０世帯　　●加入率：１００．０％

活動内容

杉原尾上自治会は，栃木県庁前に位置する小規模の自治会です。従来の自治会活動を大切にしながら，自治会員の意識・行動改革等を目的に，中心市街地活性化を視野に入れながら様々な活動を鋭意・積極的に展開しています。

飲食店が立ち並ぶロードサイドでは，プランターの設営等を行うクリーンキャンペーンの実施，自治会員の奥様の誕生日には自治会から「バラの花束」贈呈，また，年に２回ほど女性自治会員によるランチ交流会の開催を実施しています。また，週２回の頻度で「シンボルロード」，「八幡山公園通り」を含む自治会区域内の清掃活動を実施しています。

さらに，今年度には自治会の自主事業として栃木県庁内県民広場と県庁１階ロビーを会場とした「七夕ナイトマルシェ in 県庁」を開催したほか，１１月に栃木県庁前シンボルロードにて「マロニエオータムフェスティバル」の開催を予定しており，当自治会内の一般企業，飲食店の協賛・協力を得るべく，様々な活動を実践しています。

また，当自治会区域内である中心市街地の魅力をＰＲすべく，各種ＳＮＳを活用し，情報発信しています。

今後も，様々な諸活動を先駆的・積極的に展開していきます。

加入を維持する取組

当自治会は，宇都宮市の中心市街地，栃木県庁前にあるわずか１０世帯の自治会ですが，居住者は「減ることがあっても増えることはない」原理原則なので，「老々介護」の居住者が多い中，自治会会員同士の家族や世帯が見え，積極的な声掛けコミュニケーション重視，見守り見張り機能の更なる充実，居住者の井戸端・立ち話大歓迎の風潮の醸成等に積極的に努めています。



雀宮地区　サニータウン自治会

●加入世帯数：９２世帯　　●加入率：８９．３２％

活動内容

サニータウン自治会は，自治会長が１年で交代してしまうことから，自治会の大きな課題を改革するには困難な状況にありました。

こうした課題解決に向け，まず自治会の会則を令和７年４月に改正し，自治会長の複数年の就任を認め，ノウハウを蓄積することにより，次の世代の自治会長を育てるとともに，自治会の運営は誰もが参加し，笑顔で話せる場所づくりから始めることにしました。

なお，昨年度から資源ごみの集団回収にも取り組み始め，この収益金を自治会活動の運営費に充てることにより自治会活動がより活発化し，また，町内全体の環境美化にも寄与でき，犯罪発生の抑止力につながっています。

まだまだ道半ばではありますが会員ともども頑張ってまいります。



【資源ごみの収集場所「ひまわり１号公園」】

草取りをしたのできれいな公園になっています。

加入を維持する取組

当自治会は，４０年以上の歴史がある自治会ですが，これまで２世帯の退会と，アパート６世帯の退会がありました。アパートについては，オーナーの変更を理由としたものになっています。

なお，空き家対策として不動産関係者に相談したところ，今年７月に３世帯が加入してくださりました。

また，退会された方々にも丁寧に自治会の現状を説明するなどして加入促進に努めています。



【地域の防犯パトロールの様子】

宝木地区　西中丸自治会

●加入世帯数：１，０３６世帯　　●加入率：６３．０％

活動内容

西中丸自治会は，地域に住む誰もが安全で安心して暮らせる地域を作っていくため，防犯活動・子どもや高齢者の見守り活動の継続，環境美化活動の実施，防犯灯の点検管理，地域交流のバス旅行などをはじめ，宝木地区における球技大会，地区体育祭，宝木まつりなど様々なイベントに協力しています。

また，行政との連携を通じて地域要望の調整を行い，生活環境の向上に大きく寄与しており，地域づくりにおける重要な役割を果たしています。

これからも安全で安心して暮らせる地域づくりを目指し，活動していきます。

当自治会のイベントとして，特徴的なものを紹介します。

―ボーリング大会―

誰でもみんなが参加できるスポーツとして昨年度から実施しています。

―防犯パトロール―

今年青パトを１台増車して２台体制になったことで，より細かいパトロールの実施が可能となりました。

―西中丸バスの旅―

毎年２台のバスで親睦・交流を図るバス旅行を開催しています。知らない人同士でも帰りには仲良くなっています。

加入を維持する取組

当自治会区域には，多数のマンション，アパートがあります。その方々の多くは未加入者です。一部の方には加入していただいておりますが，会費の集金や回覧など一部問題が生じています。

今，多くのマンションは管理会社が管理しており，なかなか自治会に対する協力が得られません。長期に住まわれずに数年で引越しされる方も多く，「加入はしません」と話される方もいます。

一人暮らしの高齢者によっては，班長になると集金や回覧配布の負担が大きすぎると退会する方がいます。「高齢者は班長にならなくても良い」とすると，班によっては皆高齢者で班長を務める人がいなくなってしまいます。

西中丸は，田畑が新しく造成され，若い人たちが移り住んできています。いま，自治会はその方々の加入促進を行っており，比較的多くの人たちに加入いただいています。希望をもって活動をしているところです。

豊郷地区　瓦谷町上自治会

●加入世帯数：３８世帯　　●加入率：９７．４％

活動内容

瓦谷町上自治会は，宇都宮美術館と栃木県農業試験場を結んだ北側に位置し，南側には田川が流れる自然豊かな田園地帯に位置する歴史ある自治会です。現在は２８戸に敬老者がおり，高齢化に伴う自治会運営や営農の継続が課題となっています。そうした状況のなかでも，高齢の方が生涯現役で活躍しながら，自治会として農地を守る活動や伝統行事の継承に取り組んでいます。

「農地を守る取組」として，「まほろば豊郷北」に参加し，田川の土手（約１㎞）の草刈りを年４回行うほか，地域内の市道の草刈り，花壇の植栽・手入れ，ごみ拾いを実施しています。また，畦畔の害虫駆除を目的とした野火焼き（火入れ）や，町内の樹木剪定などの環境整備を行い，個人所有地以外の保全に努めています。

「伝統継承の取組」として，毎年２月に「琴平神社祭礼」，７月に「お天王様」を開催しています。また，当自治会の「天棚」には，五穀豊穣，風雨順調，課内・村内安全を祝う天祭が見事に彫刻されており，現在は栃木県立博物館に展示されています。

これらの活動に加え，「地域の親睦と防犯」として，地区のスポーツ大会やその後の慰労会，新年会などを通じて会員同士のコミュニケーションを深めています。日頃から顔なじみの関係を築くことで，近隣の出来事や変化を自然と共有・把握できるようになり，地域の防犯体制の強化にもつながっています。

加入を維持する取組

古くから続く自治会であることと，前期の活動を通じてのコミュニケーションによるものと思っております。



【田川沿いの草刈りの様子】



【花壇の植栽の様子】

豊郷地区　瓦谷町下自治会

●加入世帯数：３９世帯　　●加入率：１００．０％

活動内容

瓦屋町下自治会は，田川と一侍川が流れる豊郷の田園地帯に，東西に延びる横山街道沿いに連なる世帯を中心とした３９世帯の小規模な自治会です。

古くからの町内で農家の方が多く，町内にある平野神社の氏子となっている方も多いため，行政，農事，神事が一つの自治会の中で運営する珍しい自治会となっています。

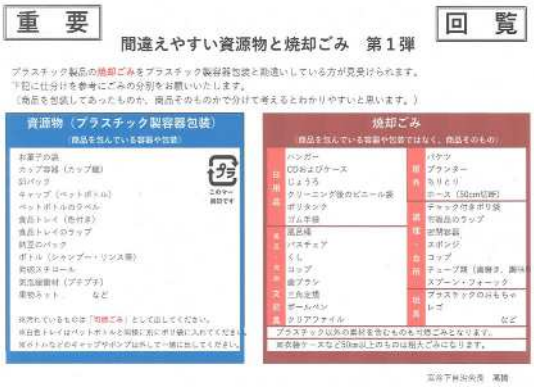
近年，コロナ禍の影響もあり，１月の第一日曜日に開催していた宇都宮市の指定文化財にもなっている「瓦谷の神楽」や７月の天狗衣装を纏い町内を練り歩く「八坂神社祭典」は休止しており，豊郷地区内の体育祭への参加も町内の「少子高齢化」の影響で参加を見合わせています。

自治会の年行事は，全市一斉清掃（年３回），神社清掃（年２回），公民館植木の手入れ（年１回），公民館清掃（年４回）と運営の簡素化に努めています。

また，毎年１月１日午前１０時から公民館において，「新年会」として町内の初顔合わせを行うなど町内の結束が強いところが強みでもあります。

自治会内にゴミステーションが１つしかなく，田んぼの中にあるため，自治会外からのごみもあり，分別に関する案内を表示し，環境美化にも注力しています。

近年では，自治会活動にあわせた自治会費の見直し（18,000 円／年から 13,000 円／年）や若い世代の活動参画についての意見交換会を懇親会と併せて実施したほか，ごみ分別の注意書きの回覧などに取り組んでいます。



加入を維持する取組

古くからの集落で年齢が高い世代が，普段からの「近所づきあい」の中で加入していることが要因の一つです。

また，新規転入世帯には，自治会活動への参加や役員を強制しないことも加入率が高い要因と考えられます。

一方で，「若者や仕事を持つ人が活動に参加しにくい」「役員や参加者の高齢化」が問題となっており，会員間でどうすればいいのかを考える機会を設けることが今後の自治会運営や世代交代を促す意味でも必要と考えます。

豊郷地区　ゆたか団地自治会

●加入世帯数：３１５世帯　　●加入率：９９．０％

活動内容

ゆたか団地は昭和４８年に自治会が誕生しました。現在の自治会長は９代目です。自治会員の活動につきましては，社会福祉としてサロン活動を実施しています。グランドゴルフ（月６回１０８名），コーラス部（月２回３０名）卓球部（月４回２０名），将棋クラブ（月１回４名），あるけあるけの集い（年１回８０名）などを実施しています。

また，当自治会は山本１丁目の「防犯パトロールゆたか支部」として，令和元年から青色回転灯装備車で自治会区域内を巡回しています。数年前に空き家の空き巣被害が発生していますので，積極的にパトロールを実施しています。


栃生企第　1567 号

青色回転灯装備車
（自主防犯パトロール中）

自動車登録番号又は車両番号
宇都宮330そ8569

使用団体名
山本防犯パトロール隊

パトロール実施地域
宇都宮市内

栃木県警察本部長

発行日　令和元年8月5日

加入を維持する取組

ゆたか団地内にはアパートが３軒あります。私が自治会長になってから，アパートを管理している不動産会社や大家さんとのコミュニケーションを図り，アパートを一世帯と考え，不動産会社と大家さんの同意を得て，３軒とも自治会加入となりました。コミュニケーションを図るため，１１年前から不動産会社に年会費として自治会費の集金に訪問しています。





西地区　材木町通り協和会

●加入世帯数：６９世帯　　●加入率：８０．２％

活動内容

材木町通り協和会は，自治会，長寿会，社協関連のサロン等と協働で活動しています。当自治会の特徴的な活動を紹介します。

―聖天さん跡地の月一回の参拝―

「聖天さん跡地の参拝」年３回（１月・５月・９月）に御本尊を預かっていただいている生福寺に参拝し，５月には参拝後，食事会を開催，交流を深めています。

―落語会，津軽三味線の会―

年２回実施し，終了後に食事会を開催し，交流を深めています。

―サロン―

月１回「みんなの保健室（ＮＰＯ法人）」に会場を借りて，自治会員並びに参加希望者を集い，お話しや歌をうたう機会を設けています。ときには，「みんなの保健室」が主催するイベントに参加したり，スタッフから健康に関する話をいただいたりしています。

―天王祭・菊水祭―

飾りつけをして，渡御をお見送りしています。

加入を維持する取組

当自治会は，高齢化が進む中，少しでも外出し，楽しく会話できるような，無理なく参加が可能な行事が必要であると考え，「サロン　みんなの保健室（ＮＰＯ法人）」とのコラボで活動を計画しています。

自治会の加入率については，アパートやマンション等の住民の出入りが激しく，流動的となっています。

西原地区　蓬莱町自治会

●加入世帯数：２８世帯　　●加入率：１００．０％

活動内容

蓬莱町自治会は，江戸時代から続く日光街道沿いの街としてありましたが，戦時中に町内会として整備されました。戦後すべての自治会が解散となりましたが，地域住民の自治組織は存在し，昭和３７年に地区の連合自治会が結成されました。

現在，蓬莱町自治会は２８世帯の小規模な自治会ですが，自治会内に神社（菅原神社）があり，毎月清掃活動を行っています。また，町内で「蓬莱町の彫刻屋台保存会」を組織し，ふるさと宮まつり等に参加しています。

特徴的な取組として，「新年初顔合わせ」があります。毎年１月１日午前１０時に町内の菅原神社に集まり，新年を自治会全体で祝います。また，１０月には西原地区体育祭への参加し，その打ち上げを兼ねてバーベキュー大会を開催しています。育成会・青年部・明生会（老人会）についても，自治会内部組織ごとに活動を行っています。



加入を維持する取組

「ふるさと宮祭り」への参加が秘訣です。「蓬莱町の彫刻屋台保存会」で所有する彫刻屋台で，５年に一度「ふるさと宮祭り」へ参加しています。参加に際しては，組立～巡行～解体が２週間に及びます。自治会世帯数の減少や高齢化により，転出した元自治会員に呼びかけても不可能な状態でした。そのため，「第５０回ふるさと宮祭り」への参加に関しては，西原地区連合自治会・西原小学校・一条中学校・青葉学園など広くお願いし，西原地区全体で「ふるさと宮まつり」に参加することができました。地区の伝統ある市指定文化財を知ってもらうためにも良かったと思っています。

自治会内の結束はもとより，西原地区連合自治会のまとまりにも一定の効果があったと思います。なお，屋台には西原地区子どもお囃子会が乗り込み，みんなで網を引き，お囃子を鳴らし市内巡行ができました。地域の文化財を次世代につなぐことができたと思っています。

細谷・上戸祭地区　上戸祭１丁目自治会

●加入世帯数：２１５世帯　　●加入率：５９．０％

活動内容

上戸祭１丁目自治会には，約２００世帯が加入しており，そのうち約半数が敬老会対象世帯という高齢化が進んでいる自治会です。一方で，学校や商業施設の立地・バスの利便性等の特性から，過去１０年の間に小・中規模分譲住宅が開発され，若い世代の住民も増えています。自治会区域内には，細谷・上戸祭地区の中でも最大面積を誇る「上戸祭２号児童公園（１，８００坪)」があり，シンボルとなっています。その大規模公園を活用して会員同士の交流を図る年間行事を開催しています。

―自治会ＢＢＱ―

初夏，公園の大きな桜の木の下でバーベキューを実施しています。令和８年は第２回目として，約８０人が参加しました。子どもたちは料理を待っている間，公園の大きなグラウンドで大縄跳び等をして遊び，大人たちは新緑の中で初夏の雰囲気や食事，会話を楽しんでいました。自由参加・会費制でこれだけの参加があるということは，会員の皆様に内容・企画を楽しんでいただけているものだと考えています。

―ラジオ体操（夏）―

学校の夏休みが始まった１週間，午前６時３０分からラジオ体操を開催しており，毎年約３０世帯９０人ほどが参加しています。

―秋の芋掘り・子供キッチン食事会―

自治会内の農家の畑をお借りし，サツマイモや里芋を栽培し，秋には子ども達の芋掘り体験と料理体験を通して，食育の育成を図っています。

―自治会員の地域活動への参加―

高齢世帯の参加はなかなか難しいが，約１００世帯いる比較的若い世代のうち，約２割程度の方に自由参加であるバーベキューやラジオ体操に参加いただけているということは，自治会執行部の評価としては，及第点が取れていると自負しております。



加入を維持する取組

戸建て住宅の場合，概ね自治会に加入いただいています。また，集合住宅の場合には，家主さんから，特別町内費をいただいているため，自治会加入はまちまちです。

新規戸建て住宅に入居される場合には，「自治会に入りたい」と申出いただけるケースもあり，そうでない場合には，入居してしばらくたった後に，自治会役員が個別訪問をして自治会活動に対する説明の機会を設けています。

御幸ヶ原地区　上野町南自治会

●加入世帯数：２３０世帯　　●加入率：１００．０％

活動内容

上野町南自治会は，６０歳以上が約７割を占める「超・高齢社会」の最前線に位置しています。この地域実情に応じ，客観的データと統計分析に基づき，「誰一人取り残さない安心・安全なまちづくり」と「持続可能な自治会運営」を一体となって推進しています。

―「安全キット」による救命・見守り体制の確立―

高齢世帯や一人暮らしの住民の安全確保を最優先課題とし，緊急時に発見から救命までを最短でつなぐ「安全キット」を導入しました。対象となる１５０世帯のうち，すでに１１０世帯以上へ役員等による手渡し配付を完了し，運用を開始しています。直接訪問して手渡すことで安否確認と対話の機会を創出しており，実際に心筋梗塞や脳梗塞で倒れた方が迅速に救助され軽症で済んだという明確な救命実績も生まれています。

―地域環境の自主管理と防災・防犯体制の強化―

草むしりや垣根管理等は班ごとの担当エリアを図面で明確化し，「自分たちの地域は自ら管理する」という納得感のもとで自主管理を徹底しています。また，自治会内に「防火管理責任者」を配置し，集会所の緊急避難所機能の強化や通学路の見守り活動を実施しています。

―今後の展望―

当自治会は，「データに基づく総合的なコーディネート」により，子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを，スピード感をもって推進してまいります。当自治会の「現場の課題解決」と「行政連携」を両立させた先進モデルが，宇都宮市全体の自治会活性化の参考となるよう，今後も活動を深めてまいります。

加入を維持する取組

６５歳以上の高齢世帯や障がいをお持ちの方へ「安全キット」を配備するなど，住民の「命」と「暮らし」に直結する取組を迅速に形にすることで，全世帯加入という強い連帯感と安心感を維持しています。「安全キット」を１戸ずつ直接手渡して声をかけたり，回覧や普段の会話を大切にしたりすることで，一人暮らしの高齢者や新しく引っ越してこられた方の不安を解消し，お互いの顔が見える安心な関係を築いています。

また，子ども一人ひとりを大切にする，地域ぐるみの登校班づくりやＬＩＮＥなどの連絡ツールを活用した効率的な自治会運営による役員の負担軽減にも取り組んでいます。

陽光地区　今宮４丁目自治会

●加入世帯数：２３６世帯　　●加入率：７１．５％

活動内容

今宮４丁目自治会には警察官舎があり，取り壊し予定のため住人がごそっと転出し，世帯数が減りましたが，若い人たちが空地に家を建てて住むようになり，少しは世帯数が増えました。

夏には地区の盆踊りに参加し，昼間には段ボールとペットボトルで作った本格的な御輿を子どもたちが担いで町内を渡御しました。ハロウィンにも仮装して御輿を担ぎました。

秋の体育祭には子どもたちが積極的に参加するので，若い子どもの親や祖父母及び高齢者たちも応援に参加しています。若い世帯が住むようになって子どもが生まれ，今年は当自治会では小学校に入学する子が他の自治会よりも一段と増えました。

夏休みには，自治会主催で毎年ラジオ体操を行っており，今年は８月２９日まで実施しました。小学生はもとより幼児・大人・高齢者も参加して体を動かし健康な体を作りました。１日も休まなかった参加者には，皆勤賞と最優秀賞，１日休みは優秀賞，２日休みは準優秀賞，その他の参加者には努力賞の賞状を贈呈し，そのほか全員に記念品を渡しました。来年１月には地区の陽光冬まつりのどんど焼きがあり，楽しみです。

加入を維持する取組

秘訣は何もありません。

今宮４丁目には総合スポーツゾーンの総合運動公園やカンセキスタジアム，日環アリーナ栃木の水泳場と体育館が隣接しています。また，遊園地「とちのきファミリーランド」や赤十字血液センター・動物愛護センターがあり，暮らす環境に適した場所です。

その環境を狙って移住する世帯があり，そうした方たちが率先して自治会に加入してくれます。ありがたいことです。



陽東地区　南ふたば自治会

●加入世帯数：１６４世帯　　●加入率：５１．３％

活動内容

当自治会は，令和４年４月，旧ふたば自治会と旧南自治会の合併により誕生した自治会です。近隣の自治会同士が合併するのは決して珍しいことではないと思いますが，当自治会の成り立ちにおいて，令和４年の合併は実に３回目の合併になります。最初は昭和５１年の合併，２回目は平成２９年の合併で，昭和・平成・令和の三つの時代の流れの中，自治会活動の活性化に向けて財政の安定化や人材の確保を図るため，歴代の役員が真摯な協議を重ね，合併を実現させ今日に至っております。

自治会活動においては，住民の顔の見える関係づくり，住民の交流により親睦を深めていくことが大切ですが，合併後においてはその重要性がさらに増しています。このため，陽東地区の各種行事により多くの住民の参加を促すとともに，毎年秋，自治会独自の事業として「親睦競技大会」を児童公園で開催し，輪投げなどで子どもから高齢者までが楽しく交流しています。また，自治会の定期総会や地区の体育祭など，節目節目には懇親会を開催して参加者の親睦を図っています。

地域の安全安心づくりとして，防災訓練，環境点検，街路灯の管理による安全確保，一斉清掃，ごみステーションの適正管理を実施しています。また合併により資源物の集団回収事業の対象を区域全体に拡大し，収益を増加させることができました。

地域の情報の共有として，幹部会と役員会を定期的に開催しているほか，回覧物の適正な管理やメールの活用などにより，役員間はもとより住民との随時適切な情報の共有に努めています。

地域の見守り活動においては，民生児童委員と福祉協力員を主体としてひとり暮らし高齢者の見守り活動を行い，見守り対象者の状況の変化などを機敏にとらえる体制づくりに努めています。



加入を維持する取組

新たな宅地開発や集合住宅の建設などにより市内外から移り住む住民も増えていますが，全体的な傾向として，新たな住民の地域コミュニティに対する関心は低く，自治会役員が勧誘活動を行っても中々加入には至っていません。

また，産業通りの拡幅工事のため，地区外への移転を余儀なくされる住民もおり，自治会加入世帯が増えない一因になっています。


住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA